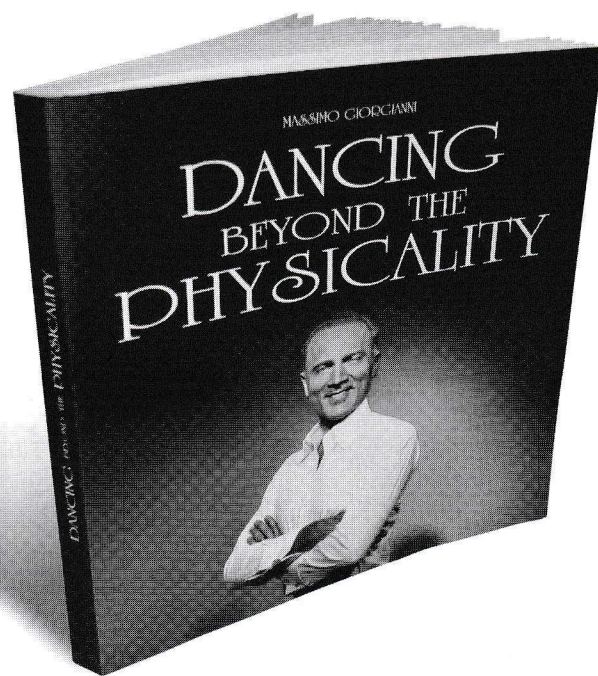


# Massimo Magic

—マッシモ・マジック—

フィジカル、第2回  
(全3回) その先にあるもの。

DANCING BEYOND THE PHYSICALITY  
-Part 2-



マッシモ氏が今年出版したこの本には、ダンサーが「どうやって(How)動くか」ではなく、「なぜ(Why)そう動くのか」を軸に、どうすればダンサーが内面を表現でき、それによりどれほど踊りが変化するかという大変興味深い話が語られています。

さあ、みなさんもこの本と一緒に、フィジカルのその先へと旅立ちましょう！

(※英文抜粋とは完全一致していません。)



Massimo  
Giordani

◎マッシモ・ジョルジアンニ

1978年、パートナーのアレッシア・マンフレディーニとジュニア大会でカップルデビュー。1997年にターンプロシ、その年のUK選手権で7位入賞、ライジングスターで優勝を果たす。さらに、2001年全英選手権では総合3位という成績をおさめ、この年をもって引退を表明。その後、ミラノ近郊のスタジオやワークショップで後進の育成に努めている。



# THE ILLUSIONIST

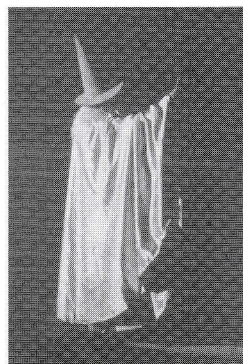
The idea for the title of this chapter comes from the analogy I see between the figure of the **illusionist** and that of the **dancer**: both look for an **effect** and go in search of the performance that will produce it to the utmost. Dance can produce **magical** movements, especially when performed by a couple. Every time I've had the chance to watch a skilful illusionist, I always thought that he was **aware** of the right moment to produce the "magic" and its effect on the audience. We all know and recognize that there's nothing real, nevertheless, we are always surprised and fascinated by the result.

In competitive dancing, I find the same thing, yet there's one difference that cannot be overlooked. In dancing, the magic lasts for the duration of the performance, demanding the dancers be aware of their own intentions throughout the entire performance. The dancer, like the illusionist, must know exactly the feelings he wants to bring out in his audience and must also foresee the effect of what he is going to create. If he isn't aware of this, his performance will likely not capture the attention and feelings of the audience and will not be very successful as a consequence.

This connection between the illusionist's magic and the magic of dance helps us to understand the two elements at the root of a **sense of timing** and intention. Let's have a closer look at these points:

**Timing. a sense of surprise (a necessary ingredient as much for the illusionist as for the dancer) calls for an awareness of when to carry out the physical gesture.**

One must **feel** exactly the right moment to perform it and perceive the moment when the physical gesture is consistent with the desired result. Personally, I find waiting for the **right moment** exciting and creative. This inner state of heightening exhilaration emanates a strong sense of decision and a total control of the performance and the audience. It's as if putting off that movement and doing it exactly when it should be done renders it recognizable to the audience, thus including them in a vision that had already existed internally for quite a while. The aim of all this is as follows: to bring an idea into form at just the right moment in order to move the audience that much more. A moment too early or too late could cause the message, the magic, to fail. (to be continued)



This article is an extract of the book "DANCING BEYOND THE PHYSICALITY" written by Mr. Massimo Giorgianni, under his permission.

## イリュージョニスト(奇術師)

この章のタイトルをイリュージョニストにしたのは、ダンサーもイリュージョニストも似ていると思うからです。どちらも効果を狙い、その効果が最大限に得られるパフォーマンスを探し求めるからです。ダンスに於いてもマジックのような瞬間を創ることは、特にペアで踊る場合は、可能です。考えてみてください、カップルがホールドを崩さないようにしながら、また、動きが不自然にならないようにしながら、その時何をしようとしているかを。

見事なイリュージョンを見る度に感心させられることは、そういうイリュージョニストはイリュージョンを見せる絶妙なタイミングも、その効果も知り尽くしていると言う事です。私たち観客は、目の前で行われていることはイリュージョンであって、騙されているのだと分かっているけれども、それでもなお騙され驚かされ、引き込まれてしまうのです。

このように、ぎりぎりの所まで観客の注意を引きつけて置いてから、ぴつくりさせて虜にする——それこそイリュージョニストが目指す所なのです。

ダンスの競技会も同じだと思います。二つ大きな違いがあるとすれば、イリュージョニストが行うマジックの瞬間が、ダンスの場合では踊っている間ずっと続いている点です。ダンサーは踊っている間中、自分たちがしている事に意識を持ち続けていなければなりません。また、ダンサーもイリュージョニストのように、観客に対してどのような効果をもたらしたいか明確な考えを持つていなければなりませんし、その考え通りの結果が出ることを予想していなければなりません。そうした考えなしには、観客の気持ちを捕える事はできないでしょうし、そうなれば、成功したとは言えなくなってしまう。

イリュージョニストが行うマジックとダンサーが行うマジックの関係を見ていくと、根底にある一つの共通した要素が見えてきます。それは、タイミングを捕まえるセンスと意志です。むしろ、何かを生み出すために必要な繊細な感情と言ふべきかも知れません。もう少し詳しく見て行くことにしましょう。

**タイミング: 人を驚かすセンス  
(イリュージョニスト同様、  
ダンサーにも必要な要素)  
には、体を使う時のタイミングを  
熟知していることが求められます。**

私たちは何かをしようとする時、その絶妙なタイミングを感じて行わなくてはなりません。また、それをした後に期待通りの結果が得られる瞬間も感じ取らなくてはなりません。個人的には、結果が得られる瞬間を待っている時間の方が、とてもエキサイティングで創造的に思われます。そのようにウキウキした気持ちの体の中にあると、そこから何かを決心する際の強い判断力や、観客を含めたパフォーマンス全体のコントロールと言った物が現れるのです。それはあたかも、やろうとすることをずっと引き延ばしておいて最後の最後に観客に見せるといふのに似ています。その間、何が起るかを観客に想像させておいて、最後には観客を幻想の中に取り込むのです。観客の感動を最大限に引き出すには、ここぞというタイミングでアイデアを形として表すことです。早すぎても遅すぎても、そのタイミングを誤るとメッセージは伝わりません——マジックは失敗となります。

(つづく)